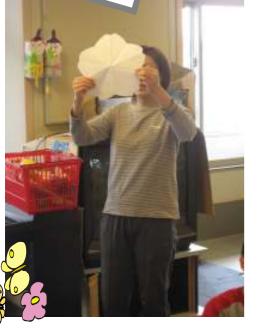
(1) 数 (3) 号



重症心身障害児・者棟 「たんぽぽ東棟」









春の足音が聞こえてくる中、一足先に利用者のみんなが桜を咲かしてくれました。 うすいピンクやこいピンクを使っていろい ろな桜を咲かしてくれました。

・・・・シリーズ 「耳鼻咽喉科から」 第3話・・・・・

『みみの病気』

青い鳥医療福祉センター 耳鼻咽喉科医長 別府 玲子

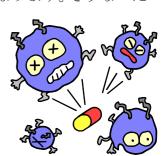
今回はみみの病気についてお話します。前 回、難聴には、伝音難聴、感音難聴、混合難聴 があることをお話しましたが、伝音難聴にな る病気の代表的なも のは、中耳炎です。中 耳炎といっても一つ

目次: シリーズ「耳鼻咽喉科から」 1 ~2 読書コーナー 2 外来診療部コーナー 3 「支援を学ぶ」 4 ~6 地域自立支援協議会につ 6 いて ~7 7 入所部門コーナー 7 掲示板 8

ではなく、急性中耳炎、滲出性中耳炎、慢性中 耳炎などがあります。急性中耳炎は、風邪をひ いた後に起こることが多く、お子さんが夜間 '耳が痛い'といって泣いて起きる場合は、大 抵急性中耳炎と思っていただいてよいと思い ます。急性中耳炎は、鼻の奥の突き当りの、の どの壁の両側に開いている耳管という中耳腔 をつなぐ管を介して、細菌やウイルスが中耳腔 入り、炎症が起こった場合に発症します。耳痛 が第一の症状で、炎症がひどくなると、中耳腔 に膿がたまり、その量が多くなると、鼓膜がは じけて膿が外耳道側に出てきます。これがいわ ゆる耳漏(耳だれ)といものです。お子さんの 場合は、適切な処置、内服薬(抗生剤など)の 投与を受ければ、1~2週間で大体治ります。し かし、最近では、保育所などの集団保育の環境 下で、抗生剤の効かない薬剤耐性菌が蔓延して おり、繰り返したり、治りが悪かったりする傾 向があります。急性中耳炎になったら完治する までしっかりと耳鼻咽喉科の治療を受けま しょう。ただ、夜間耳が痛いからといって、耳 鼻咽喉科医のいる救急病院を探しまわり、深夜 に受診することは得策ではありません。手持ち

の痛み止め (解熱鎮痛剤) を使用し、翌日の朝 一番に耳鼻咽喉科を受診することをお勧めい たします。他に、お子さんに多い中耳炎として は、滲出性中耳炎があげられます。どうもこの 頃聞き返しが多いとか、テレビのボリュームを 大きくするなどの症状がある場合は、滲出性中 耳炎になっていることがあります。滲出性中耳 炎は、中耳腔に滲出液がたまる病気ですが、耳 管の機能が悪かったり、急性中耳炎の不完全な 改善により発症します。先に述べたように、症 状は痛みがなく、聞こえの悪さが主体のため見 過ごされてしまう場合がありますので注意し ましょう。治療は、鼻から耳管に空気を送る通 気療法、内服薬の治療を行いますが、3~6ヶ月 しても改善のない場合は、鼓膜に換気チューブ を留置する手術の適応になります。そうなった

場合は、主治医の説明をよく聞いて治療方針を決定することが必要でしょう。次は、感音難聴になる病気についてお話します。



読書コーナー 『いちごばたけのちいさなおばあさん』

福音館書店

わたりむつこ さく ・ 中谷千代子 え

いちごばたけの土のなかに、ちいさなおばあさんがすんでいました。あるとしのこと、春はまだずっとさきだというのに、ぽかぽかあたたかくて、雪のかわりに雨がふりつづいたことがあり

^^^^^



ました。おばあさんはあせをふきふき、かいだんをひゃくだんのぼってじめんの上にでてみました。すると、いちごばたけはみわたすかぎりあおあおとした葉をひろげていました。そして、おばあさんのおしごとがはじまりました。おばあさんはいちごの実がなるまでに、あまくてまっ赤にいろづいたいちごをつくらなければなりません。さて、どうしたのでしょう・・・

春はいいことがたくさんあります。おいしい食べ物があり、キレイなお花が咲き、気持ちの良い風が吹きます。 外に出て、春を探してみませんか。

(指導員 加藤)

外来診療部コーナー

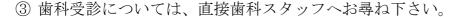
「予約のとり方と、外来対応について」

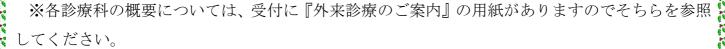
外来看護師 酒井田有希子

皆様、こんにちは。今回は予約方法と、外来で取り組んでいる対応について お話したいと思います。ご存知の方も再確認の意味でお付き合いください。

≪予約について≫

- ① 基本的に外来看護師で承ります。
- ② リハビリテーション科、整形外科については、直接医事受付へお問い合わせください。





≪電話予約の場合≫

- ① 電話番号は代表番号になりますので、電話口でご用件をはっきりとお話ください。
- ② 患者様の声のみが頼りとなりますので、こちらで間違いの無いように、確認事項を復唱させて頂いております。
- ③ 初めての診察予約の場合、御相談内容等の詳細をお伺いした上で、予約の仕方から説明させて 頂いておりますので、少しお時間を頂くことになります。

昨年の夏から、外来診療時に『現在の診察は○時から○時の予約時間の方です。』という掲示を 始めています。

理由は、

- ① 待ち時間が長くて御迷惑をお掛けしている患者様に声掛けだけでなく目で見て状況をご理解いただくこと
- ② 提示されている時間を見てある程度予測して待ち時間を過ごして頂くこと です。

また、再来の予約時に全部の診療科統一した複写式の予約表をお渡ししています。



複写式にすることで、患者様にお伝えした日時を外来スタッフでも再確認することができます。

病院などの医療機関の受診に対しては、医療従事者である私たちでも少なからず不安に感じるものです。

どのようなことでも構いません。気が付かれたこと、御質問等があれば遠慮な く声を掛けていただきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。



「支援を学ぶ」

指導課長 髙井 富夫

<第7話 投げ返されたカッターナイフ ーネガティブな自分でもいいー>

今は亡きG夫と私が教室で睨み合ったのは、教護 院(児童自立支援施設)の新学期が始まってまもなく でした。G夫は前々年に教護院内での義務教育を終 えてある企業に就職したのですが、そこでトラブル を起こし、再び教護院に舞い戻ってきていました。新 たな職を見つけるまでの間、中学3年生のクラスで 勉強することになっていたのです。トラブルの発端 は何でもないことでした。G夫が私のカッターナイ フを無断で使い、私の目の前で無造作にポンと教卓 に投げ返したのです。それがカタンと床に落ち、G夫 もそれに気がついているはずでした。「拾って返せ よ」私はすかさずG夫に言いました。G夫は椅子にふ んぞり返り、フンという目つきで「危ないからわざわ ざ古い画鋲を取ってやったんじゃねーか。ありがた く思えよ」と凄んでいます。「拾って俺に返せと言っ てるんだ」。私も引っ込んではいません。G夫は立ち 上がるなり、窓の外にペッと唾を吐き「やんのか、て め一。え一。やったろうじゃねーか」と私の前に立ち はだかります。二人はそこで睨み合っていたのです。

そのとき、私には去年の 苦い思い出が蘇ってきま した。着任早々、私は国語 の授業中に胸ぐらを掴ん で向かってきた中3の生 徒を投げ飛ばし、職員室ま で引きずっていったこと



がありました。私の指示に反抗して教科書を読もうとしないばかりか、罵声を浴びせて掴みかかってきたその生徒は、気力を無くしていました。職員室まで連れて行ったのは、その後どうしていいか私には分からなかったからでした。「またか。行くところまで行くしかないのか。このばか野郎が」。声にこそ出しませんが、私の頭の中は煮えたぎっていました。

次の瞬間、「やったろうということじゃない」。意外と落ち着いた低い声でした。「俺のナイフを俺に返せと言ってるだけだ。俺が間違ったことを言っているか」。立ったままG夫は私を見据え黙っています。私もG夫を見据えたまま動かないでいます。数十秒の後、ふっとG夫がカッターナイフを拾って教卓にバンと叩きつけ「拾やいいんだろ、拾や。」と吐き捨てるように言うと面倒くさそうに席に着きました。G夫の坊主頭には無数の傷跡があります。小さい頃、父親から虐待を受けていたのです。時に大人に反撃

しては無気力な態度に戻っていく彼に、応対する者は自分の中のネガティブな感情を嫌というほど味わうことになるのです。「はい。それじゃ、授業を始める」。私は何事もなかったように生徒たちに教科書を開かせ授業を始めたのでした。

頭から大人を信用していない生徒たちとの付き合

いは、G夫に限らず私をして「自分はこんな嫌な人間 だったんだ」と思い知らされる場面ばかりでした。生 徒からは「悪く」思われる人間ですし、生徒を「この 野郎」と思ってしまう人間ですし、怒ったり、憎んだ り、動揺したり、疑ったり、ありとあらゆる否定的感 情にまみれていく毎日でした。この時期、私は 分の中の否定的感情を何とかしなくてはと 焦っていました。このままでは、本当に自分 はだめになってしまうのではないかと 思っていたからです。授業で冷静に振舞 えば振舞うほど、ささくれ立ってくる自 分の心を持て余すようになったので す。「どうせ自分なんか何の役にも立 たないのではないか」。生徒たちと同じ 穴に落ち込んではため息をつく毎日でした。唯一 の解消法は退勤の車の中で音楽を聴くことでした。

滑らかになっていく心をまざまざと感じました。し かし、ネガティブな心への対処法はどんな専門書に も書いてありませんでしたし、先輩からのアドバイ スもありませんでした。仕方なく、私はあの教室での 場面のように、<カッカと来る感情>とその感情が サーッとく去った後の冷静さ>をしばらくの間、続 ける他ありませんでした。ある時、私が尊敬している 先生から「感情はそのままにしておけば消えていく もんだよ」という言葉を聴き、はっとしました。その 言葉で否定的感情を理屈(理性)で整理しコントロー ルしようとしていた自分に気がついたのです。冷静 な自分こそが本物の自分であるかのように、また正 しい自分であるかのように思っていたのです。気が ついてみれば、どちらの自分が正しいのか、正しくな いのかということではありません。どちらもそのま ま自分です。どんなにネガティブな感情が湧きあ がってきてもいずれは消えていきます。それは自分 の力ではなくて、人間がもともと持っている性質で しょう。ネガティブさも自分のうちと思えるように なったとき、それに囚われないでいる自分を感じた のでした。いま考えると自分のネガティブさに拘ら

なくなって、相手のネガティブさにも向き合えるよ ていたのですが、ある日、ビルから飛び降りて死んで うになった気がするのです。それは支援する者の側しまいました。彼を思い出すたびに、もっとましなか にある大きな課題だと思います。

「ねえ。先生。これやってもいいでしょう」とゲー ム機を持って甘えた声を出していたG夫ももういま せん。退所してある駅前でたこ焼き屋の手伝いをし

かわりがあったのではないかと悔やんでいます。

ススキに託されたことば 一必要とされていることー> <第8話

3歳のHくんと手をつないで帰ってくると、お母 さんが玄関の前で両手を広げて「おかえりー」と待ち 受けています。Hくんは左の手で、ビニール袋をしっ かりと握っています。その袋にはHくんが散歩の道 すがらに摘んできたススキがいっぱい入っていて、 揺れています。お母さんを見つけた彼は、私の手をに ぎったまま足早に歩き始めました。そして、お母さん の前に来ると、袋を見せて何か一方的に話しかけて います。お母さんは、広げた両手を所在無く下げて彼 の話に相槌を打っています。Hくんはたどたどしく、 しかし、一生懸命に、私と遊んだことやススキがあっ たことを伝えています。Hくんの輝いている目とは 反対にお母さんの目が沈んでいるのが気になりま す。

これは私が短期母子療育施設・緑の家にいたとき のことです。緑の家は、親子8組が一週間ほど家庭や 地域から離れて合宿生活をしながら、日頃悩んでい る子育てについての解決の糸口を見つけあうところ です。Hくんとお母さんは、他の7組の親子と一緒に ここで生活していたのです。Hくんの担当になった 私は、毎日、手をつないで700mほど離れたプレイ ルーム (ドラえもんの家) まで歩いて出かけ、そこで 遊んだ後、お母さんの待つ緑の家に帰るというプロ グラムの中で過ごしていました。

お母さんが遠く緑の家までやってきたのは、Hく んとお母さんとの「母子関係ができていないのでは ないか」と通っていた療育施設の職員から言われた ことが気になっていたからでした。「分かれるときに 泣かないし、再会する時も抱きついてこないし。やっ ぱり、母子関係ができてないからでしょうか」と私に 問いかけるお母さんの目は真剣でした。その裏には、 自分の母親としての努力が足りないのではないか、 工夫が足りないのではないかという自分を責める気 持ちがいっぱいあったようでした。初日から気の 合った私とHくんは、手をつないでニコニコとお母 さんに手を振ってプレイルームへ出かけました。そ ういうことが実はお母さんの心配をさらに煽ったよ

うでした。そんなことと は知らない二人は、プレ イルームで遊んだ帰りに はお母さんへのお土産と して道すがらの「ススキ」 を取ってきたのでした。 Hくんのお母さんに対す



る気持ちはとても豊かなことを感じていた私は、プ レイルームでの様子を伝えました。お母さんはその 報告を聞いてもまだ胸のつかえは降りないようでし た。それだけ、お母さんには打てば響くような手ごた えがなかったのでしょう。私はお母さんを説得する のはやめて、流れるままに二人で仲良くプレイルー ムに出かけ、帰りにはいつもススキを取って帰って きました。いつもニコニコといい顔でした。

お母さんは、Hくんが本当に自分を必要としてい るのか、ずっとずっと考え込んでいました。明日は家 に帰るという4日目の夜のことでした。お母さんは 隣で寝ているHくんに「明日、お昼ご飯を食べたらパ パのいる家に帰るよ」と告げました。すると、Hくん は起き上がって枕もとに置いてあったススキを手に して「おとうさんに、あげようね」とお母さんをみつ めてやさしく言ったそうです。お母さんはそのとき 初めて、Hくんが私たち親のことを大事に思ってい てくれていたことがジーンと伝わってきたそうで す。「この子はこんなに素直に言ってくれてたのに、 自分は何にこだわっていたのだろう」。お母さんは涙 を流しながら話してくれました。

きっとお母さんは手ごたえを感じないもやもやと した頼りない気持ちを「必要とされている」という表 現形 (例えば、再会時に抱きついてくるとか) で明確 に立て直したかったのでしょう。<人から必要とさ れていること、大切に思われていること>は、この世 にうまれた誰もにとっても生きるうえでもっとも大 切な原動力ではないでしょうか。子どもがそれを感 じ、親もそれを感じている。感じていることなのに、 気がつかないでいる。それを見つけることへの支援

Page 6

た、あらゆる支援の根本だと思っています。

その年の年賀状には、ディズニーランドでの3人 の笑顔が映っていました。お父さんとお母さんの真 <相手に向けられたニュートラルな関心>、そして ん中で得意げな笑顔のHくんがいました。

教護院の生徒、親御さんとの日常の交流から教えら 思っています。長い間、おつきあいいただきありがと れた様々なことを振り返ってきました。

ここに、もう一度お話しを整理してみます。①目の 前にいる人はさまざまな経過があってここにおり、 そこに生活という営みが確かにあるということ、② 違った立場で物事を見るとそこには様々な気持ちが 込められてあり、そこに見えるものが真実であると いうこと、③奇異に見える行為でもそれぞれに理由 があり、その人にとってかけがえのないものがある ということ、④その人が抱えている問題をその人に 代わって解決することはできないけれども、その人 のそばにいることは、その人を見捨てないことであ り、自分をも諦めないことであるということ、⑤冷静 な正しい判断というものだけが人の役に立つわけで はなく、人の魂を鎮めるのは、自分の揺れ動く魂を鎮 める自分自身の決断であろうこと、⑥人間が人間を たするものでもない。コントロールすることの気持 ちのよさに眼や耳を塞がれていては支援とはほど遠 いものになってしまうということ、⑦自分の中にあ るネガティブな気持ちも自分のものであることに変 わりがなく、それはそれでいいということ、⑧自分が かけがえのない存在として人から大切に思われてい ること、必要とされていること、それを感じながらい

は、二人の関係を大切にしたいという思いを基にし られること、それは生きる源としてお互い様である ということ、でした。

支援者としては、<相手の土俵でかかわること>、 <ささやかな自己肯定感>。この三つの教えが基本 と思っている私です。求められるままに綴ってきま したが、目の前にいる人との日常の交流から教えを 受けているのは、今も同じです。そして、学んだこと 思いつくままに8話にわたって、障害のある本人、 はまたどこかにお返ししていくことになるのだと うございました。

> (なお、ここでお話しました登場人物等は本意を壊 さない範囲で変更を加えました。)

> > (おわり)

3年間ありがとうございました



「早く続きを読みたい」と「支援を学ぶ」を楽しみ にしている声も聞いていましたが、残念ながら今回 で終了となります。地域療育研修会や親グループ交 流会、母子通園の施設支援等で、地域の方と接する機 会も多くありましたので、髙井課長の話を直接聞い たことのある方も多いと思います。エピソードを交 えながら、自身の経験の中から感じてきたことを分 かりやすく話していただき、自分のことを振り返っ 意のままにコントロールすることはできないし、またり、励まされたりする方も多かったのではないで しょうか。

> 少しでも多くの方にお伝えすることができたら と、原稿を依頼し連載してきました。青い鳥での任期 もこの3月で終わってしまいますが、新天地でのご活 躍をお祈りしています。本当にありがとうございま した。



平成18年4月より『障害者自立支援法』が施行さ れ、市町村は「地域自立支援協議会」を設置し、障 害者の生活を支えるための相談支援事業をはじめと するシステムづくり等について協議することとなっ ています。愛知県内の設置状況ですが、27市町村は 設置していますが、36市町村は未設置となってい ます。 (平成19年11月30日現在)

多くの市町村で設置にむけて準備がすすめられ ており、青い鳥の担当圏域の海部圏域・尾張中部圏 域においても、圏域担当者会議や準備会を定期的 に開催し、協議会設置方法等について検討されて きました。

今回は尾張中部圏域の協議会が開かれたので、 そちらの状況についてお知らせします。

尾張中部福祉圏域障害者自立支援協議会設立式・ 第1回協議会が行われました。

平成19年5月に「尾張中部福祉の杜」が圏域内の 委託相談支援事業所に呼びかけ、自立支援協議会 にむけての準備会が開かれました。5回の準備会が 開かれ、相談支援事業所と行政担当者によりどの ような自立支援協議会を作っていくのかが検討さ れ、準備がすすめられてきました。

平成20年2月19日(金)に尾張中部福祉圏域障害者自立支援協議会設立式・第1回協議会が行われました。医療機関をはじめ、各種サービス事業所、障害者団体、学校関係、就労関係等、地域での生活を支える関係機関の代表者で構成されています。

設立式では「障害者が地域で自立した暮らしを していくため、市町の状況に応じたサービスが充 実し質の向上や量が確保できるよう皆様のお力を お貸しいただきたい」と、西春日井市町会の会長の 河合春日町長よりあいさつがあり、委嘱状の伝達 が行われました。

ひきつづいて、第1回協議会が行われ、会長が互 選、副会長が指名され、事務局より自立支援協議会 の運営についての説明がありました。今後は、毎月 第3火曜日の午後から開催される運営会議で協議 されていく予定になっています。

尾張中部福祉圏域は2市2町(清須市・北名古屋市・豊山町・春日町)ありますが、福祉圏域単位での立ち上げは、愛知県内で尾張中部福祉圏域のみで、新しい形での障害者自立支援協議会になります。

広域ならではの良さを生かして、各事業所間の 連携を図り、実効性のある協議会になるように取 り組んでいくことが期待されます。

(地域療育 尺土)



入所部門

★★肢体不自由児棟 「なのはな棟」★★

なのはな棟には、年間20人前後のお子さんが手術目的で入所されます。2号室は手術を受けるお子さんのため、カーテンを星空☆にし、手術前後のスケジュール表を作りました。おもちゃやアロマオイルなど少しの工夫で、手術の痛みが和らぎますように・・・と願っています。

(保育士 服部)





〒452-0822 愛知県名古屋市西区中小田井5丁目89番地

雷話 052 (501) 4079 052 (501) 4085 Fax aoitori@bk9. so-net. ne. jp Email

	月	火	水	木	金				
	リハ科(岡川)	皮膚科(杉浦)	リハ科(岡川)	小児科(鈴木) <第1・3>	小児科(安井)				
午前	小児科(麻生)	小児科(安井)	小児科(麻生)		整形外科(栗田)				
9:00		(小児発達外来)		小児科(生田)					
~	児童精神科		小児科(安井)	<第2・4>	児童精神科				
12:00	(長谷川)10:00~	児童精神科(野邑)	(小児発達外来)		(長谷川)10:00~				
12.00	, h. s. (,)	<第1・3・5>	9:00~11:00	整形外科(栗田)					
	歯科(平岡)								
		児童精神科(小石)		児童精神科(石井) <第2·4>					
				< 5.4.7					
	児童精神科 児童精神科	小児科·染色体外来	リハ科(岡川)	児童精神科(石井)	眼科(髙井)				
左 纵	(長谷川)	(山中) <第2·4>	14:00~	<第2·4>	14:00~				
午後									
13:30	歯科(伊藤、平岡)	児童精神科(野邑)	泌尿器科(斎藤)	耳鼻科(別府)	小児外科				
~	立ちた(のは)		<原則として第2·4>	15 51 (NT A N	(小児外科医)				
16:00	耳鼻科(別府)	児童精神科(小石)		歯科(河合)	<第3>				
			小児科(安井)	<第4>	10 7 4 4 4 4 7 1				
	外来新患カンファレンス		(小児発達外来)		児童精神科				
	14:00~				(長谷川)				
		,	┃ ○平成19年10月現在の外来診療です。						

外来療育相談予定表(4~6月)

伊藤	泰相談員		大橋相談員			
	午前	午後		午前	午後	
4月10日(木)	0	0	4月8日(火)	0	0	
4月18日(金)	0	0	4月15日(火)	0	0	
4月25日(金)	0	0	4月22日(火)	0	0	
5月1日(木)	0		5月13日(火)	0	0	
5月9日(金)	0	0	5月27日(火)	0	0	
5月16日(金)	0	0	6月2日(月)	0	0	
5月23日(金)	0	0	6月16日(月)	0	0	
6月6日(金)	0	0	6月24日(火)	0	0	
6月19日(木)	0	0				
6月27日(金)	0	0				

^{*}予約制となっております。

担当 伊藤相談員

地区 津島市、弥富市、海部郡(七宝町、甚目寺町、飛島村)、北名古屋市 その他の市町村(名古屋市以外)

担当 大橋相談員

地区 愛西市、海部郡 (美和町、大治町、蟹江町)、清須市、西春日井郡 (豊山町、 春日町)、名古屋市

○平成19年10月現在の外来診療です。

〇受診を希望される方は、電話で予約してください。



ホームページもご覧ください http://www009.upp.so-net.ne.jp/aoitori/

*過去の「のびやか」も掲載されています。